

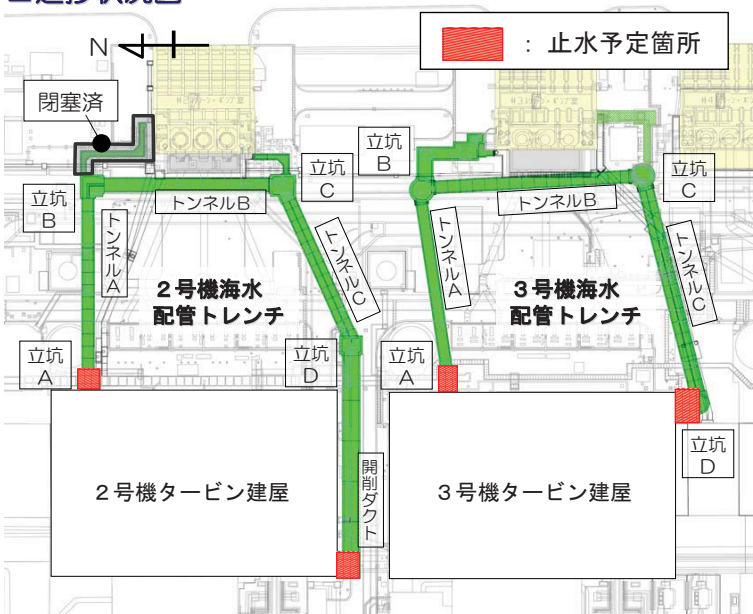
# 2、3号機海水配管トレンチ閉塞工事 建屋接続部止水工事の間詰充填状況について

平成26年10月30日  
東京電力株式会社

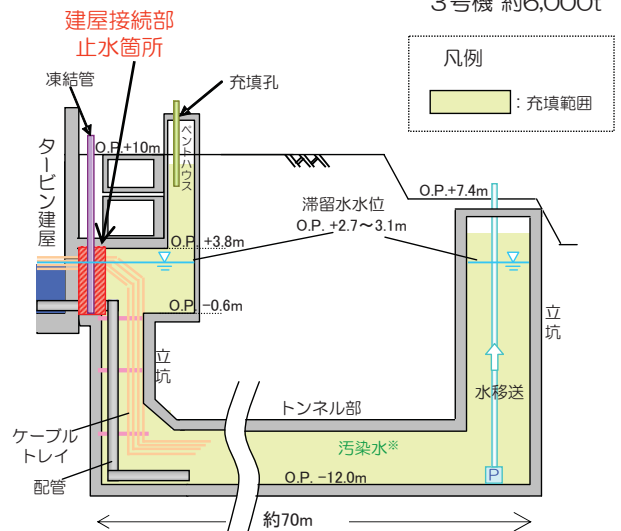


## 1. 閉塞工事のうち止水工事の進捗状況

### ■進捗状況図



※汚染水の量：2号機 約5,000t  
3号機 約6,000t



2号機海水配管トレンチ断面図(模式図)

### ■進捗状況(平成26年10月23日現在)

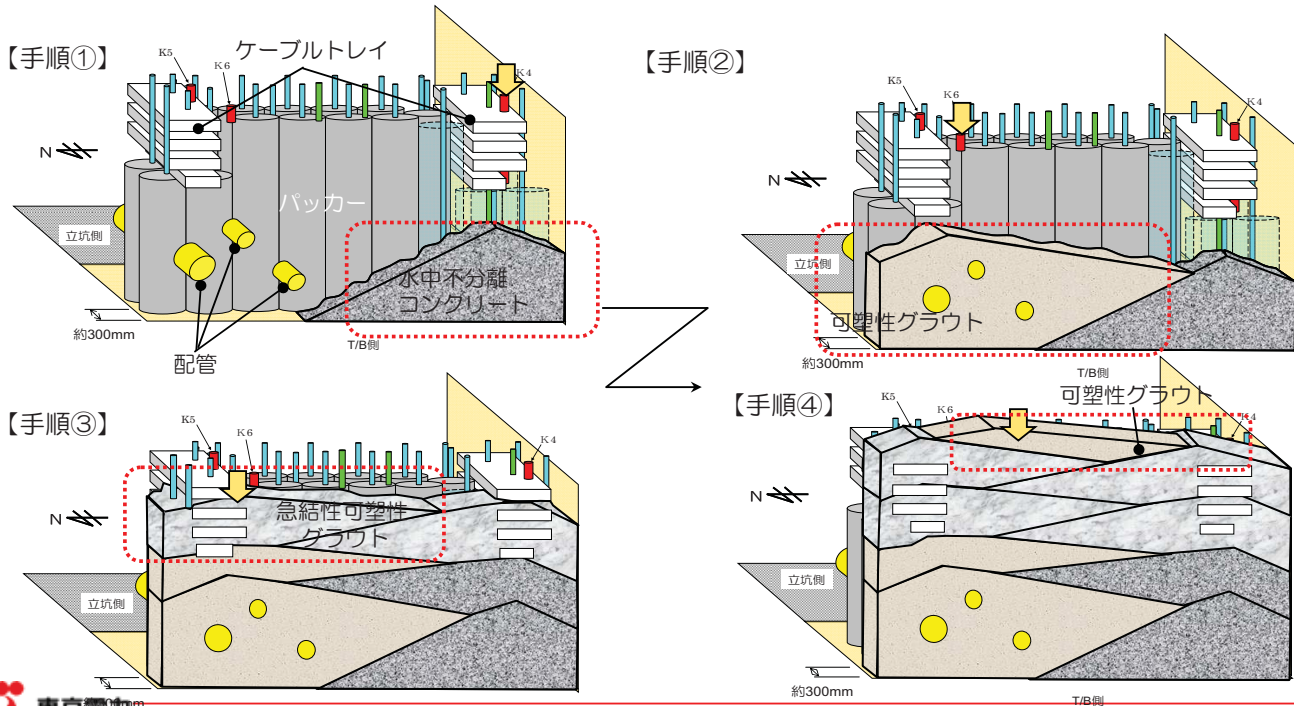
	2号機	3号機
立坑A	間詰充填中(10/20~)	立坑A 削孔完了
開削ダクト	間詰充填中(10/16~)	立坑D 削孔作業中



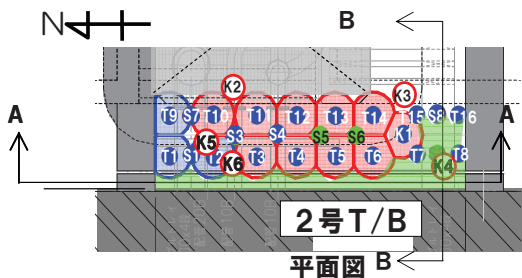
## 2.1 2号機立坑A 間詰め充填の施工手順

- 十分な止水性を確保し、凍結弱部を強固にするために間詰め充填を行う。
- 南側のパッカーがない箇所については、成長した氷を利用して、水中不分離コンクリートを打設。

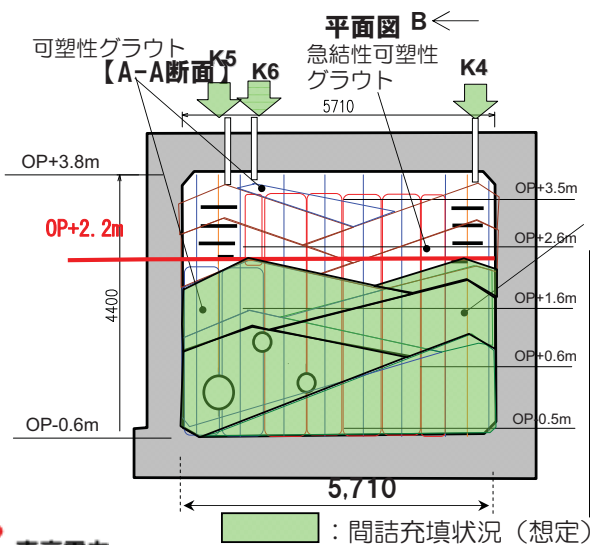
- 北側についてはパッカー部に想定される隙間を充填することを目的に流動性の高い可塑性グラウトを打設。
- ケーブルトレイ部は、短時間で固まる急結性可塑性グラウトを打設。



## 2.2 2号機海水配管トレンチ閉塞工事 立坑A 間詰め充填状況（10/29実績）



2号機海水配管トレンチ  
立坑A間詰め充填状況



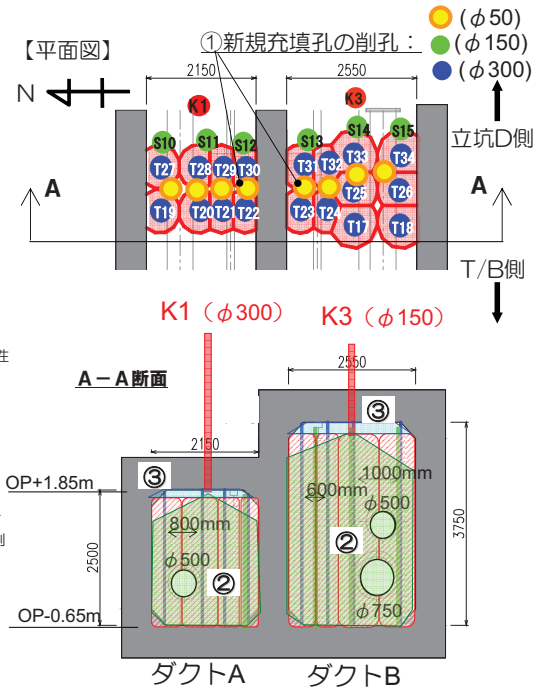
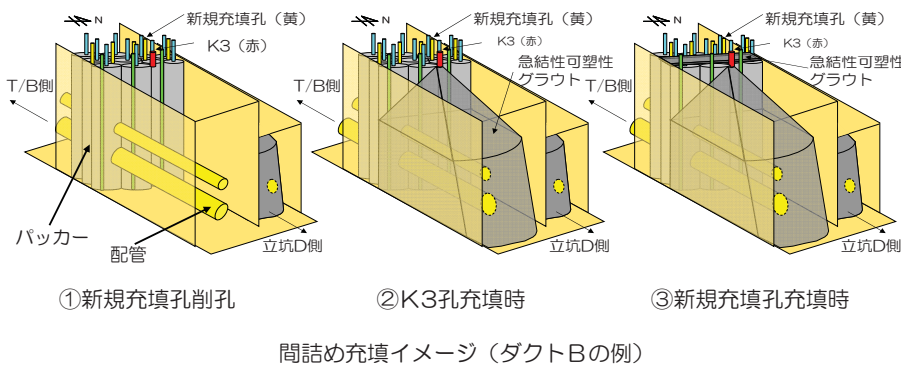
名称	種類	打設高さ	累計打設量
立坑A	水中不分離コンクリート	OP+1.9m	9m <sup>3</sup>
	可塑性グラウト	OP+2.2m	3m <sup>3</sup>
	急結性可塑性グラウト	OP+2.2m	3m <sup>3</sup>

※ 10/20～充填開始

### 3. 1 2号機開削ダクト 間詰め充填の施工手順

#### 【打設手順】

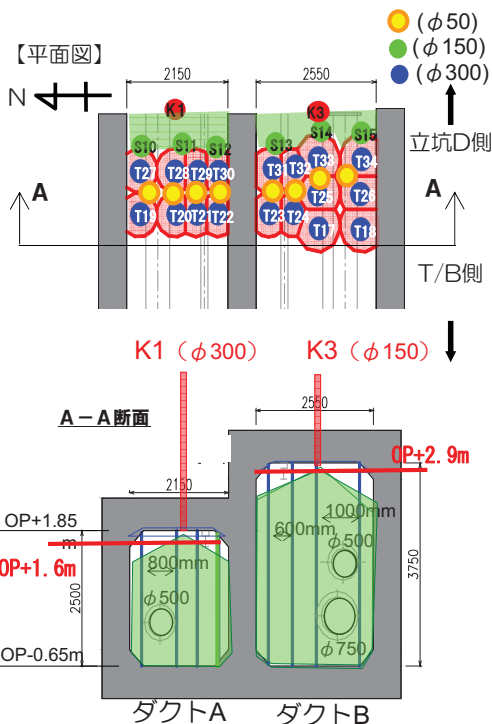
- ①パッカー上部に新規充填孔を削孔（上部充填孔の確保）
- ②パッカーを片側型枠として、配管まわりを充填するために、K1,K3孔から急結性可塑性グラウトを打設
- ③パッカー上部の新規充填孔から、急結性可塑性グラウトを打設



東京電力

無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

### 3. 2 2号機海水配管トレンチ閉塞工事 開削ダクト 間詰め充填状況 (10/29実績)



2号機海水配管トレンチ  
開削ダクト間詰め充填作業の様子



充填孔付近の様子

名称	種類	打設高さ	打設量
ダクトA	急結性可塑性グラウト	OP+1.6m	累計11m <sup>3</sup>
ダクトB	急結性可塑性グラウト	OP+2.9m	累計24m <sup>3</sup>



東京電力

無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

